

謹賀新年



写真提供：鈴浅商店 鈴木 努 氏

# あなたが創る未来のサポートシステム

# かみ商工会報

加美

## 主な内容

- 年頭のごあいさつ ……2
- 女性部  
鍋まつり中止のお知らせ  
理事会 ……3
- トップに聞く  
編集後記 ……4



第45号 2021.1.5 発行  
編集発行人 / 中島信也

本 所 ☎63-2734  
小野田支所 ☎67-2427  
宮崎支所 ☎69-5120  
色麻支所 ☎65-4384

加美商工会ホームページ   メールアドレス：kami@plum.ocn.ne.jp

# 年頭のごあいさつ

## Withコロナ新時代・・・



加美商工会長  
中島 信也

新年のご挨拶を申し上げます。会員の皆様には、不安の中にもあらたな気持ちにて新しき年をお迎えのことと存じます。日頃は、本会の運営に、ご理解とご協力を賜り、深く感謝を申し上げます。

昨年は、コロナ禍で世界中が、大影響を受け、行事や会議も、殆ど中止状態が今も続いています。政府もG.O. T.O. キャンペーンと医療崩壊とのせめぎあい状態。

本会も会員事業所の「緊急経営支援」が中心業務となり、県連はじめ、政府や県、町の特給付金等の支援事業のサポート業務を担っています。また会員情報に基づく追加支援の要望など、並行して行い、リーマンショックを超える売上げ急落で、休廃業を余儀なくされている会員の救済対策に追われる日々ですが、新時代は、リスク分散経営や業態の見直しも、避けては通れない時代に突入したのかもしれない。

安倍政権から9月には菅氏に替わり、米大統領選もあり、引続く米中の貿易摩擦、東・南シナ海の不穏な動きなど、冷戦の再燃を思わせる緊張感も募ります。延期された東京五輪も、この夏には、開催されようとして

います。世界的にも、未曾有の感染拡大で、大変化の年になりそうです。

いずれにしましても本会は、商品券やクーポン券の発行業務や会員向け電話帳発行やテイクアウト支援、空き店舗対策支援など、今後三年間①経営発達支援計画に基づく支援策の強化②本会組織・財政基盤の強化③地域経済振興の強化といった「中期計画」に基づき、行政の「総合計画」と連動した、地域の課題問題を解決するため、さらに地域貢献の取り組み支援計画を策定しています。

まさにコロナ新時代、ピンチをチャンスに変えていく気構えが肝要で、会員事業所の収益力をアップと経営基盤の強化策を地域経済の拠点機能として、共に議論して参りたいと存じます。

## 新春のご挨拶



加美町長  
猪股 洋文 様

新年明けましておめでとうございます。加美商工会、会員の皆様方には、日頃より地域経済の発展と振興にご尽力賜り厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の拡大が収まらず経済の先行きが不透明の中、皆様におかれましては様々な自助努力を重ねながら地域経済を下支えし、多くの雇用を守っていただいていることに心から敬意を表し感謝申し上げます。日々変容する国の方

針や施策に翻弄され、今後の事業継続を不安に感じていることと存じますが、町では引き続き、出来る限りの感染症対策に努めるとともに、皆様の生業や地域経済を守るための施策を展開してまいります。

さて、国では中小企業の業態転換支援を進めるほか、脱炭素化に向けた研究開発支援やデジタル社会の推進を加速するなど、今まさに変革の時を迎えています。働き方も変わり、都市圏を中心にリモートワークが定着する中、余暇を楽しみながら、ノートPCやタブレットを活用しリモートワークするワーケーション(ワークとバケーションをかけた造語)が注目を浴びています。町といたしましても持続可能な町を目指し、新しい働き方の受け皿としてワ

ーケーション事業を推進し、交流人口から関係人口、移住定住人口の増加に繋げてまいりたいと考えています。

今後デジタル社会が一層加速し、生活形態が激変すると見込まれますが、地域経済の屋台骨である皆様と緊密な連携を取り、ご支援とご協力を賜りながら、持続可能なまちづくりを進めてまいりますので、よろしくお願いします。

結びに、今年一年が明るい年となりますよう祈念するとともに、貴会益々の御発展と会員皆様方の御健勝、御多幸を心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

## 新年のご挨拶



色麻町長  
早坂 利悦 様

あけましておめでとうございませう。皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、世界中を震撼させた新型コロナウイルス感染症拡大により、我々の生活は大きな我慢を強いられ、会員の皆様は多大な影響を受けられ、大変ご苦労された一年だったと推察いたします。その影響は未だ続いており、一日も早い終息を願わずにはいられません。国・県、そし

て町においても各種支援策を実施しておりますが、今後も、適時適切に支援策を講じて参りたいと考えております。

そのような状況下でも、会員の皆様には地域の賑わい創出のための各種事業を実践いただいておりますが、なかでも新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者及び一般消費者の支援として実施された「かつば夕市」が、大好評を得たことは記憶に新しいところです。多くの方々が今後の大きな可能性を感じられたのではないのでしょうか。また、本町の冬の風物詩となっている「しかまの冬★イルミネーション」についても、一部のイベントを中止し規模を縮小せざるを得ない中でも実施されたことに深く感謝を申し上げます。

本年は、東日本大震災から10年の節目の年であるとともに、延期された東京オリンピックの開催、東北地方においては官民挙げての東北デスティネーションキャンペーンが4月から半年間実施される等大きなイベントが予定されています。

本年は丑年。丑年は「我慢(耐える)」「これから発展する前触れ(芽が出る)」の年と言われています。昨年は、新型コロナウイルス感染症により多くの困難に見舞われましたが、本年はコロナを克服し、新しい生活様式に対応した事業が展開され、会員の皆様が希望に満ちた良き年になることを祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

# 第21回うめえがすと鍋まつりin加美

## 中止のお知らせ

毎年2月11日に開催しております「うめえがすと鍋まつりin加美」は新型コロナウイルスの感染拡大及び季節性インフルエンザの流行時期と重なり、十分な感染症対策をとることが出来ないことに加え、鍋販売と2本柱の1つ酒蔵訪問会に

ついても感染防止の観点より地元酒造店から見学受入れをしない旨の申し出もあり、宮城県内でも日々コロナウイルスの感染者が増加している中、未だ収束の見通しが立っていないことから、苦渋の決断ではございますが実行委員会にて中止

を決定しましたことをお知らせ致します。  
(R2・12・21開催の第4回理事会で報告)

鍋まつり実行委員会  
委員長 高橋 宏行

### 女性部

#### 色麻支部活動報告

支部長 吉田るり子

毎日、新聞にはコロナの三文字、すべてと言っているほどのイベントが中止となる中、部員と共に活動しようと役場周辺のお掃除をしました。

3密を避けながらも久しぶりに会う仲間との会話は弾み、あっという間の時でした。

又、10月・11月はかつば笑会にて夕市開催。焼きたてをビニールに包み、保温してフランクフルト・玉コンを販売しました。

「やまない雨はない」と言います。もう少し踏ん張って笑顔で活動できる日が来ることを祈ります。



10/29(木) 福祉活動



10/16(金)・11/13(金) かつば夕市出店

### 第4回 理事会 《提出議案》 開催月日 12月21日 開催場所 加美商工会 本所 出席役員 23名

- 第1号議案 新規会員加入承認の件
- 第2号議案 統一給与規程(案)並びに統一育児・介護休業等に関する規程の一部改正(案)承認の件
- 第3号議案 新春講演会について
- 第4号議案 令和3年度中期計画(案)及び地域貢献計画(案)承認の件



感染防止対策をとりながら開催しています

## 「国の教育ローン」(日本政策金融公庫)のご案内

高校、大学等への入学時・在学中にかかる費用を対象とした公的な融資制度です。お子さま1人につき350万円以内を、固定金利(年1.68%(令和2年11月2日現在))で利用でき、在学期間内は利息のみのご返済とすることができます。

詳しくは、「国の教育ローン」で検索していただくか、下記のコールセンターへお問い合わせください。

〔教育ローンコールセンター〕0570-008656(ナビダイヤル)または(03)5321-8656

# トツプに聞く「コロナ禍の企業の対応」

「つながり」を大切に

関係するすべての人の幸せを目指して

（株）かさ松 代表取締役 笠原象司氏



## ○事業所における コロナウイルスの影響

緊急事態宣言が出された後、長期間に渡る宴会事業の自粛、また今まで定期的で開催されていた地域内イベントや法事等が軒並み中止・縮小されたことにより、前年度に比べて売上が大幅に減少してしまいました。かなり制約がある中での営業だったため、長年付き合っている取引先や働いてくれている従業員にも負担をかけてしまったように感じています。

## ○事業所としての対応と 現在の状況について

宴会事業の自粛期間中は、お弁当事業に力を入れ大変好評をいただきました。宴

会事業が再開してからは、従来の正面入口を封鎖して裏口から入っていたり、お客様の連絡先をご記入いただいで万一の時に備える席を離して大皿は使用しない、店舗内の消毒と清掃をこまめに行う等、来店される方々に安心してお食事を楽しんで頂けるよう心掛けました。お客様自らも、宴会時には定期的に窓を開ける等ご協力をいただきました。

資金面については、様々な関係機関と連携しながら、国・県・町から出ている各種補助金や助成金を活用しました。

こうした甲斐があったか、徐々に客足が戻りつつありましたが、未だコロナウイルスの収束には至っており、予断を許さない状況にあると考えております。

## ○今後の展望について

コロナウイルスが完全に収束するには後3年以上はかかるものと覚悟していま

す。当社だけではなく、あらゆる業種が苦しい状況下にありますが不満を言っても始まりません。その時代や変化に合わせて自分たちが変わっていかなければ、事業所に未来はないと思っております。今の自分たちに何が出来るのかを徹底的に見直し続け、お客様をはじめ関係する方々との「つながり」をより大切にして、最終的には「三方よし」の実現に向けて努めて参りたいと考えております。



感染防止対策が施された清潔な店内

## 持続化給付金の申請はお済ですか？

売上が前年同月50%以上減少している事業者の方は、事業の継続を下支えし、事業全般に広く使える給付金を申請できます。

今月12月までに売上が50%以上減少した月がある事業者が対象

中小法人等：上限200万円 小規模事業者等：上限100万円

申請期限

令和3年  
1月15日(金)まで

申請はすべてインターネットによる申請のみとなっております。商工会では入力サポートを行っておりますので、ご相談ください。

## 編集後記

新年あけましておめでとうございます。

2020年は、新型コロナウイルスパンデミックにより世界中が多くの困難に見舞われました。日本では昨秋から第3波という大きな波が押し寄せて、長引くコロナの影響により皆様静観なお正月をお過ごしのことと察します。

今年も「丑年」。牛は人間の仕事と人に農作業を最後まで手伝ってくれる働きぶりから、「我慢(耐える)」そして、「成功、発展の前触れ(芽が出る)」の年と言われているそうです。

2021年春の訪れと共にコロナ終息の兆しが見え、東京オリンピックに心踊らされ、地域のイベントに意気揚々と前進できることを願うばかりです。

そんな日常に戻れた暁には、会員の皆様の一層のご協力をお願いいたします。

### ★会報編集委員(敬称略)

- 委員長 金村 文彦 (中新田支部)
- 副委員長 関 文広 (青年部)
- 委員 佐々木一彦 (小野田支部)
- 委員 (小野田支部)
- 委員 猪股 俊一 (宮崎支部)
- 委員 早坂 祥悦 (色麻支部)
- 委員 黒田 弘子 (女性部)